

事業番号	06 06 03	事業改善シート(令和4年度実施事業分)			□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検		
事業名	産業廃棄物適正処理推進事業費	部局	環境部	課・室	資源循環推進課		
		実施期間	S46 ~	E-mail	Junkan@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標							
総合的に展開する重点政策	4-5 地球環境への貢献						

1 現状と課題

目指す姿	<長野県廃棄物処理計画(第5期)> 循環型社会の形成を推進するため、産業廃棄物処理業等の許可や産業廃棄物の排出抑制・資源化の促進により、産業廃棄物の適正処理と良好な環境の保全を図る。 ・産業廃棄物排出量(令和7年度):4,482千t	
これまでの取組	・産業廃棄物処理施設設置に係る現地調査及び審査の実施 ・産業廃棄物処理業等の許可に係る審査の実施 ・PCB廃棄物の期限内処理の推進	
令和3年度の点検結果 ・ 現状分析	課題	今後の方向性
	・下水道の整備により長期的に見ると産業廃棄物排出量は増加傾向にある。 ・令和2年度調査の未達・未回答・PCB保有の回答者が約21,000件あり、適正処理に向け再調査が必要である。 ・廃棄物関係業務(監視指導や許認可)は、法令等の専門知識を要する上、行政処分等の公権力を行使する機会が多く、適正かつ慎重な事務処理が求められる。	・長野県廃棄物処理計画に基づき、産業廃棄物を含めた廃棄物の減量化に向けた取組を進める。 PCB掘り起こし調査の実施により保有状況を把握し、喫緊の課題である期限内処理に向けて取り組む。 ・R3年度に廃棄物等に係る立入検査・各種許可情報を一元化するシステムを導入したことにより、事務の正確性の確保及び業務の効率化を図る。

2 令和4年度事業内容

補正予算のポイント ・ 主な取組(予定)	高濃度PCB廃棄物処理代執行事業について、当該廃棄物の保管が判明した事業者に対する指導の結果、事業者が期限内に処理等を実施したため、代執行の実施に至らなかったことによる減
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]									区分(単位:千円)			
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R4年度目標値	R2年度	R3年度	R4年度	
1	産業廃棄物排出量	千t	4,482(H30)	4,449(R1)	↑	4,490(R2)	↓	4,482				
2												
3												
4												
5												
設定理由	成果指標	1.県内における産業廃棄物処理の状況を把握するための指標 2. 3. 4. 5.										
	目標値	1.長野県廃棄物処理計画(第5期)の目標値(R7年度:4,482千t(H30年度実績の水準を維持))から算出 2. 3. 4. 5.										

事業コスト	前年度繰越	0	31,416	0
	当初予算	79,801	76,732	74,607
	補正予算	0	-24,100	-36,460
	合計(A)	79,801	84,048	38,147
	うち一般財源	70,277	74,314	28,485
	決算額(B)	33,764	80,239	
	職員数(人)	20.0	20.0	20.0

事業番号	06 06 03	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検		
事業名	産業廃棄物適正処理推進事業費		部局	環境部	課・室	資源循環推進課

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算	
1	産業廃棄物適正処理推進事業費	79,801 千円	84,048 千円	当初 補正	74,607 -36,460 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	PCB(ポリ塩化ビフェニル)廃棄物処理推進事業	直接 委託 負担金	PCB廃棄物等保有状況調査未回答事業所に対する再調査	
2	阿智処分場用地の維持管理経費	直接 委託	阿智村処分場用地の草刈り、除伐、伐採業務の実施	
3	産業廃棄物関係事業者情報等管理システム関連事業	直接 委託	産業廃棄物関係事業者情報等管理システムの維持管理業務及び仮想基盤移行業務	